

2025年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年2月3日
上場取引所 東

上場会社名 京セラ株式会社
 コード番号 6971 URL <https://www.kyocera.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 谷本 秀夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 千田 浩章 TEL 075-604-3500
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,492,055	△0.0	12,275	△84.6	50,459	△59.8	18,331	△79.7	182,059	△25.6
2024年3月期第3四半期	1,492,672	△2.2	79,844	△29.9	125,638	△22.8	90,366	△23.9	244,623	45.6

	基本的1株当たり親会社の所有者に帰属する四半期利益	希薄化後1株当たり親会社の所有者に帰属する四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	13.01	—
2024年3月期第3四半期	63.94	—

(注) 当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「基本的1株当たり親会社の所有者に帰属する四半期利益」を算定しています。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社の所有者に帰属する持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	4,591,686	3,360,522	3,334,674	72.6
2024年3月期	4,465,376	3,252,858	3,225,595	72.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	100.00	—	25.00	—
2025年3月期	—	25.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2024年1月1日付で、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しています。なお、2024年3月期の年間配当金合計については単純合算ができないため表示していません。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり親会社の所有者に帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	2,000,000	△0.2	21,000	△77.4	57,000	△58.1	20,000	△80.2	14.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

「基本的1株当たり親会社の所有者に帰属する当期利益」は、2025年3月期第3四半期(累計)の期中平均株式数を用いて算出しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	1,510,474,320株	2024年3月期	1,510,474,320株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	101,726,041株	2024年3月期	101,831,108株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	1,408,713,549株	2024年3月期3Q	1,413,283,088株

(注) 当社は、2024年1月1日付で、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を記載しています。

※ 添付される要約四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 将来の見通しに関する記述等について

当決算短信に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて、当社が予想を行い、所信を表明したものであり、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は下記を含みますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 日本及び世界経済の一般的な状況
- (2) 当社が事業や輸出を行う国における経済、政治、法律面の諸条件の想定外の変化
- (3) 為替レートの変動が当社の事業実績に及ぼす影響
- (4) 当社製品が直面する激しい競争による圧力
- (5) 当社の生産活動に用いられる原材料のサプライヤーの供給能力及びその価格の変動
- (6) 外部委託先や社内工程における製造の遅延又は不良の発生
- (7) 今後の取り組み又は現在進行中の研究開発が期待される成果を生まない事態
- (8) 買収した会社又は取得した資産から成果や事業機会が得られない事態
- (9) 優れた人材の確保が困難となる事態
- (10) サイバー攻撃等により当社の情報セキュリティが被害を受ける事態及びその復旧や維持に多額の費用が必要となるリスク
- (11) 当社の企業秘密及び特許を含む知的財産権の保護が不十分である事態
- (12) 当社製品の製造及び販売を続ける上で必要なライセンスにかかる費用
- (13) 既存の法規制又は新たな法規制への意図しない抵触
- (14) 環境規制の強化による環境に関わる賠償責任及び遵守義務の負担
- (15) 世界的な気候変動に関連する諸課題への対応遅れによるコスト増や企業ブランドの低下を招く事態
- (16) 疾病・感染症の発生・拡大、テロ行為、国際紛争やその他類似の事態が当社の市場及びサプライチェーンに及ぼす影響
- (17) 地震その他の自然災害によって当社の本社や主要な事業関連施設並びに当社のサプライヤーや顧客が被害を受ける事態
- (18) 売掛債権の信用リスク
- (19) 当社が保有する金融商品の価値の変動
- (20) 当社の有形固定資産、のれん並びに無形資産の減損処理
- (21) 繰延税金資産及び法人税等の不確実性
- (22) 会計基準の変更

上記のリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財政状態は、将来の見通しに明示又は黙示される将来の業績、事業活動、展開又は財政状態と大きく異なる場合があります。当社は当決算短信に含まれている将来の見通しについて、その内容を更新し公表する責任を負いません。

2. 決算補足説明資料の入手方法について

決算補足説明資料は、同日当社ホームページに掲載しています。

【添付資料】

○ 目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	5
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	10
(要約四半期連結損益計算書)	10
(要約四半期連結包括利益計算書)	11
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(要約四半期連結損益計算書に関する注記)	14
(セグメント情報)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

<連結業績>

当第3四半期連結累計期間（2024年4月1日から2024年12月31日まで）の世界経済は、緩やかな成長が継続しました。当社の主要市場である半導体関連や情報通信関連市場においては、引き続き生成AIがデータセンター需要を牽引しましたが、汎用データセンターやスマートフォン、自動車市場向け等の需要は低調に推移しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、電子部品セグメント及びソリューションセグメントが円安の影響もあり前第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日まで）を上回ったものの、コアコンポーネントセグメントが部品の需要低迷により微減となったことから、前第3四半期連結累計期間とほぼ横ばいの1,492,055百万円となりました。

利益は、コアコンポーネントセグメント及び電子部品セグメントの生産設備の稼働率低下や人件費等の増加に加え、当社半導体部品有機材料事業の主力製品である汎用データセンター向けFCBGAの需要低迷の長期化に伴う収益の悪化を受け、同事業における有形固定資産の減損損失等約430億円を計上したことにより、大幅に減少しました。その結果、営業利益は前第3四半期連結累計期間に比べ、67,569百万円（84.6%）減少の12,275百万円、税引前利益は同75,179百万円（59.8%）減少の50,459百万円となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、海外子会社における繰延税金資産の取り崩し等による税金費用約180億円を計上したこともあり、同72,035百万円（79.7%）減少の18,331百万円となりました。

【連結業績】

(百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)		増 減	
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	増減金額	増減率 (%)
売上高	1,492,672	100.0	1,492,055	100.0	△617	△0.0
営業利益	79,844	5.3	12,275	0.8	△67,569	△84.6
税引前利益	125,638	8.4	50,459	3.4	△75,179	△59.8
親会社の所有者に帰属する四半期利益	90,366	6.1	18,331	1.2	△72,035	△79.7
米ドル平均為替レート (円)	143	—	153	—	—	—
ユーロ平均為替レート (円)	155	—	165	—	—	—
設備投資額	105,242	7.1	101,748	6.8	△3,494	△3.3
有形固定資産 減価償却費	82,231	5.5	85,848	5.8	3,617	4.4
研究開発費	77,481	5.2	87,197	5.8	9,716	12.5

<レポートニングセグメント別の業績>

① コアコンポーネント

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結累計期間に比べ8,459百万円(2.0%)減少の423,693百万円となりました。事業利益は同58,793百万円減少し、13,327百万円の損失となりました。

売上高は、半導体製造装置向けファインセラミック部品等の販売は増加したものの、汎用データセンター向けFCBGAの販売減少を主因に、微減となりました。事業利益は、売上減少及び減価償却費等の固定費増加に加え、半導体部品有機材料事業における有形固定資産の減損損失等約430億円を計上した結果、大幅に減少しました。

② 電子部品

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結累計期間に比べ3,673百万円(1.4%)増加の266,301百万円となりました。事業利益は同14,444百万円減少し、1,411百万円の損失となりました。

売上高は、欧州自動車市場低迷により当社製品の需要が減少したものの、情報通信及び産業機器市場向けコンデンサや水晶部品等の販売増加及び円安効果により、ほぼ横ばいとなりました。事業利益は、Kyocera AVX Components Corporation(以下「KAVX」)グループにおける新工場の稼働率低迷に伴う原価率の上昇及び人件費等の増加により、大幅に減少しました。

③ ソリューション

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結累計期間に比べ5,279百万円(0.7%)増加の816,114百万円となりました。事業利益は同5,403百万円(11.8%)増加の51,205百万円となり、利益率は6.3%へ向上しました。

売上高は、ドキュメントソリューション事業が円安効果により増収となったことから、他の事業の減収を相殺し、ほぼ横ばいとなりました。事業利益は、主にドキュメントソリューション事業の増収に加え、コミュニケーション事業の収益性改善も寄与し、増加しました。

【レポートिंगセグメント別売上高】

(百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)		増 減	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	増減金額	増減率 (%)
コアコンポーネント	432,152	29.0	423,693	28.4	△8,459	△2.0
産業・車載用部品	167,216	11.2	173,338	11.6	6,122	3.7
半導体関連部品	242,676	16.3	225,735	15.1	△16,941	△7.0
その他	22,260	1.5	24,620	1.7	2,360	10.6
電子部品	262,628	17.6	266,301	17.8	3,673	1.4
ソリューション	810,835	54.3	816,114	54.7	5,279	0.7
機械工具	235,406	15.8	231,796	15.5	△3,610	△1.5
ドキュメントソリューション	325,934	21.8	352,061	23.6	26,127	8.0
コミュニケーション	161,656	10.8	158,827	10.7	△2,829	△1.8
その他	87,839	5.9	73,430	4.9	△14,409	△16.4
その他の事業	13,768	0.9	12,721	0.9	△1,047	△7.6
調整及び消去	△26,711	△1.8	△26,774	△1.8	△63	—
売上高	1,492,672	100.0	1,492,055	100.0	△617	△0.0

【レポートिंगセグメント別利益 (△損失)】

(百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)		増 減	
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	増減金額	増減率 (%)
コアコンポーネント	45,466	10.5	△13,327	—	△58,793	—
産業・車載用部品	18,873	11.3	18,799	10.8	△74	△0.4
半導体関連部品	26,388	10.9	△33,251	—	△59,639	—
その他	205	0.9	1,125	4.6	920	448.8
電子部品	13,033	5.0	△1,411	—	△14,444	—
ソリューション	45,802	5.6	51,205	6.3	5,403	11.8
機械工具	12,742	5.4	11,804	5.1	△938	△7.4
ドキュメントソリューション	28,653	8.8	32,189	9.1	3,536	12.3
コミュニケーション	2,356	1.5	4,713	3.0	2,357	100.0
その他	2,051	2.3	2,499	3.4	448	21.8
その他の事業	△30,340	—	△35,165	—	△4,825	—
事業利益計	73,961	5.0	1,302	0.1	△72,659	△98.2
本社部門損益等	51,677	—	49,157	—	△2,520	△4.9
税引前利益	125,638	8.4	50,459	3.4	△75,179	△59.8

(注) 当社は、当連結会計年度より、前連結会計年度まで「その他の事業」に含めていたエネルギーソリューション事業を「ソリューション」セグメントの「その他」に含めることとし、「本社部門損益等」に含めていたエネルギー関連出資に伴う持分法損益等についても同セグメントに含めて業績管理することとしました。これに伴い、前第3四半期連結累計期間の業績は、この管理区分にて表示しています。

(2) 当四半期の財政状態の概況

<連結財政状態の状況>

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び現金同等物や営業債権及びその他の債権が減少した一方、資本性証券及び負債性証券が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ126,310百万円増加し、4,591,686百万円となりました。負債合計は、主に繰延税金負債が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ18,646百万円増加し、1,231,164百万円となりました。資本合計は、主にその他の資本の構成要素の増加により、前連結会計年度末に比べ107,664百万円増加し、3,360,522百万円となりました。

【連結財政状態】

(百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)	増減金額
資産合計	4,465,376	4,591,686	126,310
負債合計	1,212,518	1,231,164	18,646
資本合計	3,252,858	3,360,522	107,664

<連結キャッシュ・フローの状況>

現金及び現金同等物の当四半期末残高は、当期首残高の424,792百万円に比べ、33,322百万円減少し、391,470百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・インは、前第3四半期連結累計期間の183,806百万円に比べ、380百万円増加し、184,186百万円となりました。四半期利益は減少したものの、当第3四半期連結累計期間の四半期利益には半導体部品有機材料事業における減損損失が含まれていること、また、営業債務の減少が縮小したこともあり、微増となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・アウトは、前第3四半期連結累計期間の115,196百万円に比べ、19,362百万円増加し、134,558百万円となりました。これは主に、有形固定資産の購入による支出が増加したことによるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・アウトは、前第3四半期連結累計期間の72,262百万円に比べ、19,605百万円増加し、91,867百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出が減少した一方、借入金の調達が減少したことによるものです。

【連結キャッシュ・フロー】

(百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	183,806	184,186	380
投資活動によるキャッシュ・フロー	△115,196	△134,558	△19,362
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,262	△91,867	△19,605
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,324	8,917	△2,407
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,672	△33,322	△40,994
現金及び現金同等物の期首残高	373,500	424,792	51,292
現金及び現金同等物の四半期末残高	381,172	391,470	10,298

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当社は、当第3四半期連結累計期間に半導体部品有機材料事業における減損損失や海外子会社における繰延税金資産の取り崩しによる税金費用等の一時損失を計上しました。また、ソリューションセグメントにおいて、主に機械工具事業やスマートエネルギー事業の市況回復に遅れが生じています。このような状況に鑑み、当連結会計年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。また、レポートニングセグメント別業績予想についても次頁に記載のとおり修正いたします。

当社は、収益性改善を最優先課題とし、半導体部品有機材料事業及びKAVXグループにおける抜本的な構造改革等の経営施策を着実に実行してまいります。特に、半導体部品有機材料事業においては、既存製品の増産に係る設備投資の停止や同事業の人員配置転換等を実施します。

これらの将来予測情報については、【サマリー情報】「※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項 1. 将来の見通しに関する記述等について」をご参照ください。

【通期連結業績予想】

(百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日)		当連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日)				前期比 増減率 (%)
			前 回 (2024年10月30日公表)		今 回 (2025年2月3日公表)		
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	
売上高	2,004,221	100.0	2,020,000	100.0	2,000,000	100.0	△0.2
営業利益	92,923	4.6	68,000	3.4	21,000	1.1	△77.4
税引前利益	136,143	6.8	100,000	5.0	57,000	2.9	△58.1
親会社の所有者に帰属する当期利益	101,074	5.0	71,000	3.5	20,000	1.0	△80.2
米ドル平均為替レート (円)	145	—	145	—	150	—	—
ユーロ平均為替レート (円)	157	—	155	—	160	—	—
設備投資額	161,684	8.1	160,000	7.9	150,000	7.5	△7.2
有形固定資産 減価償却費	111,724	5.6	120,000	5.9	110,000	5.5	△1.5
研究開発費	104,290	5.2	120,000	5.9	120,000	6.0	15.1

【レポートिंगセグメント別売上高予想】

(百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日)		当連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日)				前期比 増減率 (%)
			前 回 (2024年10月30日公表)		今 回 (2025年2月3日公表)		
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	
コアコンポーネント	569,145	28.4	559,000	27.7	556,000	27.8	△2.3
産業・車載用部品	224,574	11.2	234,000	11.6	231,000	11.6	2.9
半導体関連部品	314,649	15.7	291,000	14.4	291,000	14.5	△7.5
その他	29,922	1.5	34,000	1.7	34,000	1.7	13.6
電子部品	352,277	17.6	350,000	17.3	351,000	17.6	△0.4
ソリューション	1,101,625	54.9	1,132,700	56.1	1,110,000	55.5	0.8
機械工具	310,740	15.5	313,700	15.5	306,000	15.3	△1.5
ドキュメントソリューション	452,162	22.5	480,000	23.8	482,000	24.1	6.6
コミュニケーション	224,403	11.2	229,000	11.3	223,000	11.2	△0.6
その他	114,320	5.7	110,000	5.5	99,000	4.9	△13.4
その他の事業	17,680	0.9	15,300	0.7	17,000	0.8	△3.8
調整及び消去	△36,506	△1.8	△37,000	△1.8	△34,000	△1.7	—
売上高	2,004,221	100.0	2,020,000	100.0	2,000,000	100.0	△0.2

【レポートिंगセグメント別利益（△損失）予想】

(百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日)		当連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日)				前期比 増減率 (%)
			前 回 (2024年10月30日公表)		今 回 (2025年2月3日公表)		
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	
コアコンポーネント	57,226	10.1	38,000	6.8	△4,500	—	—
産業・車載用部品	26,409	11.8	25,000	10.7	24,000	10.4	△9.1
半導体関連部品	30,375	9.7	12,000	4.1	△30,000	—	—
その他	442	1.5	1,000	2.9	1,500	4.4	239.4
電子部品	6,521	1.9	1,000	0.3	△1,500	—	—
ソリューション	69,841	6.3	80,000	7.1	72,000	6.5	3.1
機械工具	16,837	5.4	18,700	6.0	14,700	4.8	△12.7
ドキュメントソリューション	43,940	9.7	48,000	10.0	47,400	9.8	7.9
コミュニケーション	6,964	3.1	7,600	3.3	8,300	3.7	19.2
その他	2,100	1.8	5,700	5.2	1,600	1.6	△23.8
その他の事業	△41,049	—	△50,000	—	△49,000	—	—
事業利益計	92,539	4.6	69,000	3.4	17,000	0.9	△81.6
本社部門損益等	43,604	—	31,000	—	40,000	—	△8.3
税引前利益	136,143	6.8	100,000	5.0	57,000	2.9	△58.1

(注) 当社は、当連結会計年度より、前連結会計年度まで「その他の事業」に含めていたエネルギーソリューション事業を「ソリューション」セグメントの「その他」に含めることとし、「本社部門損益等」に含めていたエネルギー関連出資に伴う持分法損益等についても同セグメントに含めて業績管理することとしました。これに伴い、前連結会計年度の業績は、この管理区分にて表示しています。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2024年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)		増減金額
	金額	構成比	金額	構成比	
	百万円	%	百万円	%	百万円
資産の部					
流動資産					
現金及び現金同等物	424,792		391,470		△33,322
営業債権及びその他の債権	392,212		364,208		△28,004
その他の金融資産	35,541		39,480		3,939
棚卸資産	540,225		556,999		16,774
その他の流動資産	46,584		49,979		3,395
流動資産合計	1,439,354	32.2	1,402,136	30.5	△37,218
非流動資産					
資本性証券及び負債性証券	1,640,038		1,822,736		182,698
持分法で会計処理されている投資	15,979		15,632		△347
その他の金融資産	46,539		50,147		3,608
有形固定資産	665,990		650,309		△15,681
使用権資産	82,642		84,946		2,304
のれん	282,879		286,298		3,419
無形資産	152,171		149,670		△2,501
繰延税金資産	50,774		40,715		△10,059
その他の非流動資産	89,010		89,097		87
非流動資産合計	3,026,022	67.8	3,189,550	69.5	163,528
資産合計	4,465,376	100.0	4,591,686	100.0	126,310

	前連結会計年度 (2024年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)		増減金額
	金額	構成比	金額	構成比	
	百万円	%	百万円	%	百万円
負債及び資本の部					
負債の部					
流動負債					
借入金	9,394		9,642		248
営業債務及びその他の債務	212,133		194,961		△17,172
リース負債	24,378		25,606		1,228
その他の金融負債	5,934		6,947		1,013
未払法人所得税等	22,530		12,113		△10,417
未払費用	142,338		125,972		△16,366
引当金	8,474		8,463		△11
その他の流動負債	45,008		56,314		11,306
流動負債合計	470,189	10.6	440,018	9.6	△30,171
非流動負債					
借入金	199,760		202,377		2,617
リース負債	70,659		72,859		2,200
退職給付に係る負債	9,138		9,361		223
繰延税金負債	441,345		482,703		41,358
引当金	11,594		12,954		1,360
その他の非流動負債	9,833		10,892		1,059
非流動負債合計	742,329	16.6	791,146	17.2	48,817
負債合計	1,212,518	27.2	1,231,164	26.8	18,646
資本の部					
資本金	115,703		115,703		—
資本剰余金	118,754		118,802		48
利益剰余金	1,967,527		1,920,358		△47,169
その他の資本の構成要素	1,166,752		1,322,805		156,053
自己株式	△143,141		△142,994		147
親会社の所有者に帰属する持分合計	3,225,595	72.2	3,334,674	72.6	109,079
非支配持分	27,263	0.6	25,848	0.6	△1,415
資本合計	3,252,858	72.8	3,360,522	73.2	107,664
負債及び資本合計	4,465,376	100.0	4,591,686	100.0	126,310

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)		増 減	
	金 額	比率	金 額	比率	増減金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	1,492,672	100.0	1,492,055	100.0	△617	△0.0
売上原価	1,072,546	71.9	1,072,683	71.9	137	0.0
売上総利益	420,126	28.1	419,372	28.1	△754	△0.2
販売費及び一般管理費	340,282	22.8	407,097	27.3	66,815	19.6
営業利益	79,844	5.3	12,275	0.8	△67,569	△84.6
金融収益	57,713	3.9	58,003	3.9	290	0.5
金融費用	13,445	0.9	22,044	1.5	8,599	64.0
持分法による投資損益	△50	△0.0	△37	△0.0	13	—
その他—純額	1,576	0.1	2,262	0.2	686	43.5
税引前利益	125,638	8.4	50,459	3.4	△75,179	△59.8
法人所得税費用	32,827	2.2	29,732	2.0	△3,095	△9.4
四半期利益	92,811	6.2	20,727	1.4	△72,084	△77.7

四半期利益の帰属：						
親会社の所有者	90,366	6.1	18,331	1.2	△72,035	△79.7
非支配持分	2,445	0.1	2,396	0.2	△49	△2.0
四半期利益	92,811	6.2	20,727	1.4	△72,084	△77.7

1株当たり情報						
親会社の所有者に帰属する 四半期利益：						
— 基本的及び希薄化後 (円)	63.94		13.01			

(要約四半期連結包括利益計算書)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)	増減金額
	金額	金額	
四半期利益	百万円 92,811	百万円 20,727	百万円 △72,084
その他の包括利益—税効果控除後			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	98,706	129,053	30,347
確定給付制度の再測定	140	2	△138
純損益に振り替えられることのない項目合計	98,846	129,055	30,209
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動	△22	△9	13
在外営業活動体の換算差額	52,895	32,234	△20,661
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	93	52	△41
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	52,966	32,277	△20,689
その他の包括利益計	151,812	161,332	9,520
四半期包括利益	244,623	182,059	△62,564

四半期包括利益の帰属：			
親会社の所有者	241,910	179,255	△62,655
非支配持分	2,713	2,804	91
四半期包括利益	244,623	182,059	△62,564

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

(百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計		
2023年4月1日残高	115,703	119,144	1,912,372	969,801	△93,243	3,023,777	25,058	3,048,835
四半期利益			90,366			90,366	2,445	92,811
その他の包括利益				151,544		151,544	268	151,812
四半期包括利益計	—	—	90,366	151,544	—	241,910	2,713	244,623
配当金			△71,149			△71,149	△1,257	△72,406
自己株式の取得					△50,012	△50,012		△50,012
自己株式の処分		48			117	165		165
非支配持分との取引		△438				△438	△157	△595
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替			94	△94		—		—
その他			53			53		53
2023年12月31日残高	115,703	118,754	1,931,736	1,121,251	△143,138	3,144,306	26,357	3,170,663

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計		
2024年4月1日残高	115,703	118,754	1,967,527	1,166,752	△143,141	3,225,595	27,263	3,252,858
四半期利益			18,331			18,331	2,396	20,727
その他の包括利益				160,924		160,924	408	161,332
四半期包括利益計	—	—	18,331	160,924	—	179,255	2,804	182,059
配当金			△70,435			△70,435	△1,904	△72,339
自己株式の取得					△4	△4		△4
自己株式の処分		49			151	200		200
非支配持分との取引		△5				△5	△2,315	△2,320
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替			4,871	△4,871		—		—
その他		4	64			68		68
2024年12月31日残高	115,703	118,802	1,920,358	1,322,805	△142,994	3,334,674	25,848	3,360,522

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)	増減金額
	金額	金額	
	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー			
四半期利益	92,811	20,727	△72,084
減価償却費及び償却費	115,509	121,962	6,453
金融収益及び金融費用	△44,268	△35,959	8,309
持分法による投資損益	50	37	△13
減損損失	148	40,148	40,000
有形固定資産売却損益	△636	1,271	1,907
法人所得税費用	32,827	29,732	△3,095
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	26,023	33,966	7,943
棚卸資産の増減額 (△は増加)	4,355	△9,486	△13,841
その他の資産の増減額 (△は増加)	△1,843	△1,687	156
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△23,819	△1,176	22,643
未払費用の増減額 (△は減少)	△19,921	△20,157	△236
その他の負債の増減額 (△は減少)	2,131	9,534	7,403
その他—純額	△13,046	△19,110	△6,064
小計	170,321	169,802	△519
利息及び配当金の受取額	57,632	57,900	268
利息の支払額	△3,009	△3,277	△268
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△41,138	△40,239	899
営業活動によるキャッシュ・フロー	183,806	184,186	380
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の購入による支出	△102,297	△126,078	△23,781
無形資産の購入による支出	△9,048	△9,496	△448
有形固定資産の売却による収入	1,951	2,598	647
事業取得による支出 (取得現金控除後)	△2,510	—	2,510
定期預金及び譲渡性預金の預入	△6,198	△19,349	△13,151
定期預金及び譲渡性預金の解約	3,698	16,432	12,734
有価証券の購入による支出	△1,401	△7,441	△6,040
有価証券の売却及び償還による収入	517	9,134	8,617
その他—純額	92	△358	△450
投資活動によるキャッシュ・フロー	△115,196	△134,558	△19,362
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額 (△は減少)	△20,000	—	20,000
長期借入金の調達	96,921	10,333	△86,588
長期借入金の返済	△5,960	△7,789	△1,829
リース負債の返済	△19,275	△22,292	△3,017
配当金の支払額	△73,343	△72,118	1,225
自己株式の取得による支出	△50,012	△4	50,008
その他—純額	△593	3	596
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,262	△91,867	△19,605
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,324	8,917	△2,407
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,672	△33,322	△40,994
現金及び現金同等物の期首残高	373,500	424,792	51,292
現金及び現金同等物の四半期末残高	381,172	391,470	10,298

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(要約四半期連結損益計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間において、コアコンポーネントセグメントに含まれる半導体部品有機材料事業の収益性が悪化したため、有形固定資産等の減損損失40,148百万円を認識し、帳簿価額を回収可能価額まで減額しました。なお、減損損失は、要約四半期連結損益計算書の販売費及び一般管理費に計上しています。

(セグメント情報)

① レポートセグメントの概要

当社のレポートセグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、マネジメントが経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっています。

なお、当社のレポートセグメントは、事業セグメントの区分と同じとしています。

各レポートセグメントの主要事業・子会社は次のとおりです。

レポートセグメント	主要事業・子会社
コアコンポーネント	ファインセラミック部品、自動車部品、光学部品、セラミック材料、有機材料、医療機器、宝飾・応用商品
電子部品	電子部品、Kyocera AVX Components Corporation
ソリューション	機械工具、情報機器（京セラドキュメントソリューションズ(株)）、通信機器、情報通信サービス（京セラコミュニケーションシステム(株)）、スマートエナジー、エネルギーソリューション、ディスプレイ、プリンティングデバイス

また、当社は、当連結会計年度より、前連結会計年度まで「その他の事業」に含めていたエネルギーソリューション事業を「ソリューション」セグメントに含めることとし、「本社部門損益等」に含めていたエネルギー関連出資に伴う持分法損益等についても同セグメントに含めて業績管理することとしました。これに伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、この管理区分にて表示しています。

② レポートセグメントに関する情報

前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間のセグメント情報は次のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

(百万円)

	レポートセグメント			その他の事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結合計
	コアコン ポーネント	電子部品	ソリュー ション				
売上高							
外部売上高	431,488	261,898	790,092	9,194	1,492,672	—	1,492,672
セグメント間取引	664	730	20,743	4,574	26,711	△26,711	—
合 計	432,152	262,628	810,835	13,768	1,519,383	△26,711	1,492,672
事業利益 (△損失)	45,466	13,033	45,802	△30,340	73,961	—	73,961
本社部門損益等 (注) 3	—	—	—	—	—	—	51,677
税引前利益	—	—	—	—	—	—	125,638
その他の項目							
設備投資額 (有形固定資産)	42,923	24,541	19,664	5,582	92,710	12,532	105,242
減価償却費及び償却費	36,682	23,906	40,565	6,775	107,928	7,581	115,509
研究開発費	13,512	10,791	30,190	22,988	77,481	—	77,481
持分法による投資損益	—	—	310	—	310	△360	△50

(注) 1 「その他の事業」の区分はレポートセグメントに含まれない事業セグメントであり、主にGaNデバイス事業及びレポートセグメントに帰属しない研究開発費等です。

2 調整額は次のとおりです。

- (1) セグメント間取引の調整額は、セグメント間取引消去です。
- (2) 設備投資額 (有形固定資産) の調整額は、各セグメントに帰属しない本社部門にかかる設備投資額です。
- (3) 減価償却費及び償却費の調整額は、各セグメントに帰属しない本社部門にかかる減価償却費及び償却費です。
- (4) 持分法による投資損益の調整額は、各セグメントに帰属しない本社部門にかかる持分法による投資損益です。

3 本社部門損益等は各セグメントに帰属しない収益・費用を指し、主に金融収支から構成されています。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(百万円)

	レポートिंगセグメント			その他の事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結合計
	コアコン ポーネント	電子部品	ソリュー ション				
売上高							
外部売上高	423,065	265,520	795,188	8,282	1,492,055	—	1,492,055
セグメント間取引	628	781	20,926	4,439	26,774	△26,774	—
合 計	423,693	266,301	816,114	12,721	1,518,829	△26,774	1,492,055
事業利益（△損失）	△13,327	△1,411	51,205	△35,165	1,302	—	1,302
本社部門損益等（注）3	—	—	—	—	—	—	49,157
税引前利益	—	—	—	—	—	—	50,459
その他の項目							
設備投資額 （有形固定資産）	34,583	27,180	19,901	3,291	84,955	16,793	101,748
減価償却費及び償却費	38,626	25,423	42,307	7,440	113,796	8,166	121,962
研究開発費	16,097	11,026	29,311	30,763	87,197	—	87,197
持分法による投資損益	—	—	322	—	322	△359	△37

(注) 1 「その他の事業」の区分はレポートिंगセグメントに含まれない事業セグメントであり、主にGaNデバイス事業及びレポートिंगセグメントに帰属しない研究開発費等です。

2 調整額は次のとおりです。

(1)セグメント間取引の調整額は、セグメント間取引消去です。

(2)設備投資額（有形固定資産）の調整額は、各セグメントに帰属しない本社部門にかかる設備投資額です。

(3)減価償却費及び償却費の調整額は、各セグメントに帰属しない本社部門にかかる減価償却費及び償却費です。

(4)持分法による投資損益の調整額は、各セグメントに帰属しない本社部門にかかる持分法による投資損益です。

3 本社部門損益等は各セグメントに帰属しない収益・費用を指し、主に金融収支から構成されています。